

保健衛生について

今年も風邪やインフルエンザの流行が気になる季節になってきました。

風邪の 予防にはうがい、手洗いが基本ですね。手には目に見えないバイ菌やウイルスがいつにいつにいます。

風邪をひいている人が「鼻をかむ」「鼻を手でこする」「くしゃみや咳をするとき口元を手で覆う」このような時にウイルスが手にたくさん付着します。その手でドアノブ、手すり、電話の受話器、電車の吊革などに触れるとそこにウイルスが付着し、知らずにそこに触った手で手洗いをしないまま食事したり口元に触れることで感染が起こります。



普通の石けんと流水で手を洗うだけでも20秒間かけて念入りに行えば、多くの場合十分な手指の洗浄になるそうです。しかし、手をきれいに洗っても、その手を拭くタオルが汚れていては、せっかく洗った手をまた汚すことになります。湿ったタオルはバイ菌やウイルスの絶好の住処になっています。手洗いの後は、乾いた清潔なタオルやハンカチ、ペーパータオルなどで水分を十分に拭き取りましょう。

ジェル状や液体などのアルコール消毒剤は、インフルエンザウイルスなどの各種ウイルスをわずか10秒で不活化することができますので、流水での手洗いが難しい時に利用したり、流水での手洗いと併用して利用すると効果があるみたいですよ（^^）

園に来ている保護者の方々、地域の方々、園の中に入る前にもう一度手洗いの徹底をお願いします！